RightFAXを活用した
FAX誤送信対策ソリューション

HAMMOCK

FAXは普及率が高く操作が簡単なため、誰もが日常的に利用しています。しかし、操作が簡単が故にミスも多く依然としてFAX誤送信による個人情報漏洩事故が発生しています。
個人情報を多く取り扱う企業は2名体制での対応や複雑な手順に従って送信するなど、FAX誤送信対策に意外なほど手間をかけています。
今回は簡単にFAX誤送信対策がとれるFAXサーバー「RightFAX」をご紹介します。

導入前の課題

- 課題1　FAX送信に手間がかかる（2名体制／事前・事後連絡）
- 課題2　都度、FAX番号を入力するため押し間違いが発生する
- 課題3　FAX送受信の履歴が管理できていない

仮想化対応FAXサーバー

RightFax

- FAX誤送信対策機能を標準搭載
- 金融機関をはじめ多数の導入実績
- FAX業務の人件費、紙コストを削減

課題への解決策

解決策1　承認ワークフローによるチェック

- 相手先にFAX送信される前に第三者が内容と宛先をチェック
- システム管理者によりユーザーごとに承認の有無を設定
- 承認／非承認時にコメントを付けてFAX起票者に返信

解決策２　送信可能FAX番号のマスター化

- 事前登録されたFAX番号に送信するため、入力ミスによる誤送信を防止
- マスターの共有化で全社的なFAX誤送信対策を実施
- 承認ワークフローと組み合わせて、より強固なFAX誤送信対策を実施

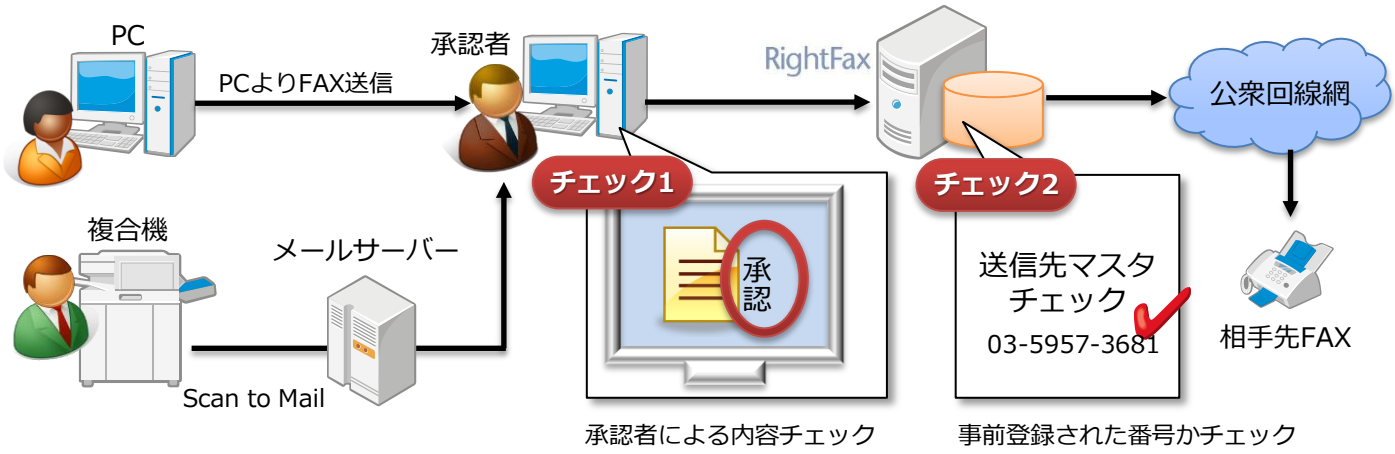
解決策３　FAX送受信ログを一元管理

- 「誰が」「いつ」「誰と」FAX送受信履歴を把握
- 複合機連携により複数の複合機のFAX履歴を一元管理
- ログ情報をCSVファイルとして出力可能

導入後の運用フロー

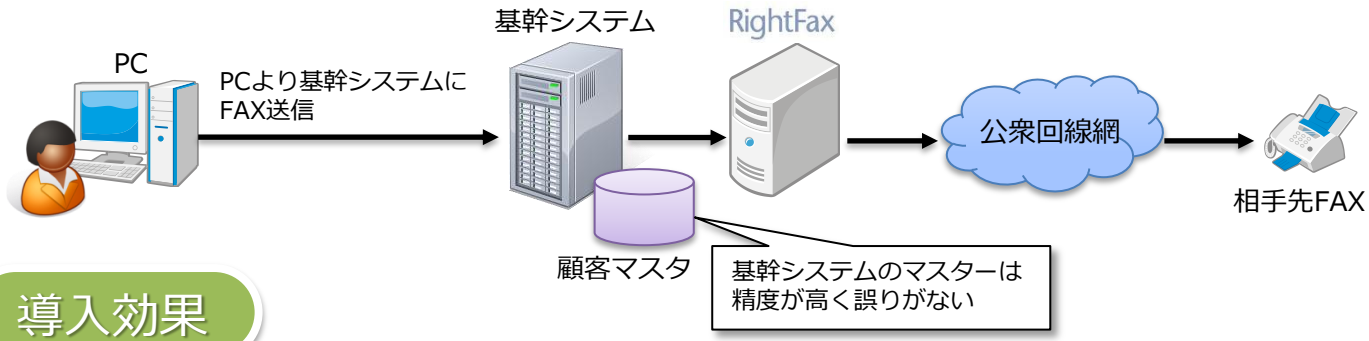
承認ワークフロー&送信先マスタチェック

誤送信が起こりやすい人手でのFAX送信も、承認ワークフローと送信先マスターチェックで誤送信を防止。



自動FAX送信（基幹システム連携）

精度の高い基幹システムのマスター情報を利用することで誤送信を防止



導入効果

- 手間をかけず、簡単にFAX誤送信対策を実現
- FAX送受信履歴の一元管理で

詳細はDCS営業部までお問い合わせください

ハンモック　FAX・OCRソリューション関連製品

RightFax
仮想化環境にも対応できる
FAXサーバー

TELEFORM®
FAX／スキャナー対応
OCRソフト

SmoothFirst
FAX受注入力業務を支援する
FAX CTIシステム

WOCR（ダブルオーシーアール）
データエントリー業務の生産性向上を支援する
高性能OCRソフト

開発・総販売元　株式会社 ハンモック　www.hammock.jp

本　社　〒171-0033 東京都豊島区高田3-19-10 昭栄高田馬場ビル1-2F　TEL 03-5957-3630　FAX 03-5957-3681
大阪営業所　〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-3-3 肥後橋レックスビル5F　TEL 06-6446-2230　FAX 06-6446-2232
名古屋営業所　〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-9-5 東海ビル5F　TEL 052-209-7877　FAX 052-209-7855

n_sales@hammock.co.jp